

本 会 記 事

I. 平成22年度 第1回評議員会議事録

日 時：平成22年11月6日（土）13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会新事務所（地階会議室）

評議員出席者：

秋光和也, 阿久津克己, 雨宮良幹, 荒瀬 榮, 有江 力, 築尾嘉章, 藤田佳克, 古屋廣光, 曳地康史, 廣岡 卓, 百町満朗, 石黒 潔, 石井英夫, 石川成寿, 伊藤進一郎, 岩井 久, 川北一人, 近藤則夫, 久保康之, 増田 税, 森田健二, 中島 隆, 夏秋啓子, 夏秋知英, 根岸寛光, 大木 理, 大島一里, 奥野哲郎, 佐野輝男, 白石友紀, 高橋英樹, 土佐幸雄, 土屋健一, 月星隆雄, 對馬誠也, 露無慎二, 吉川信幸, 上田一郎会長, 難波成任副会長, 桑田 茂幹事長, 畔上耕兒副幹事長

以上評議員41名（定数50名, 欠席：伊藤進一郎, 景山幸二, 松本直幸, 生井恒雄, 西尾 健, 尾谷 浩, 寺岡 徹, 豊田秀吉, 柘植尚志）

幹事出席者：

佐々木信光会計幹事, 佐藤 衛幹事, 大島研郎幹事, 井上康宏幹事

開会の挨拶（上田会長）

1. 審議事項

(1) 日韓合同シンポジウムの運営について（上田会長）

これまでの経緯が説明され, 第2回日韓合同シンポジウムを平成24年度大会（九州大会, 開催場所：福岡国際会議場）と同時開催することが提案され, 承認された。大会運営委員会（責任者：土屋健一氏）とは別組織として日韓合同シンポジウム委員会を設置し, 委員長は露無慎二氏に決定した。

(2) 学生優秀発表賞のあり方について（上田会長）

学生優秀発表賞のこれまでの経緯の説明がされ, 学生優秀発表賞はポスター発表を対象とし, 学生会員はポスター発表と口頭発表のいずれかを自由に選択できることが提案され, 承認された。平成24年度大会ではポスター発表を日韓合同シンポジウムの一環と位置づけ, 学生優秀発表賞の対象となるポスター発表については英語でポスター作成して, 発表も英語で行うことが提案され, 承認された。なお, 口頭発表については植物病理学会大会の一環として従来通り日本語による発表を原則とする。平成24年度大会以降の大会における学生優秀発表賞の英語化については今後検討することとなった。

(3) 学会100周年記念事業について（難波副会長）

これまでの準備委員会における検討事項の説明がなされ, 暫定実行委員会で決定された組織案および実行委員の候補者が承認された。学会100周年記念事業実行委員長は難波成任氏となった。

(4) 平成23年度功績者の推薦について（白石功績者推薦委員長）

名誉会員に久能 均氏を推薦することが提案され, 承認された。永年会員に石島 蕨, 菊本敏雄, 富樫二郎, 飯島 勉の各氏を推薦することが提案され, 承認された。また, 功績者への特典の改定が提案され, 承認された。

(5) 平成23年度論文賞の選考について（奥野編集委員長）

以下の2編が論文賞候補として推薦され, 承認された。

Izumi Chuma, Takeshi Shinogi, Naoki Hosogi, Ken-ichi Ikeda, Hitoshi Nakayashiki, Pyoyun Park and Yukio Tosa. Cytological characteristics of microconidia of *Magnaporthe oryzae*. *J. Gen. Plant Pathol.* 75: 353–358 (2009).

Kappei Kobayashi, Reiko Tomita and Masaru Sakamoto. Recombinant plant dsRNA-binding protein as an effective tool for the isolation of viral replicative form dsRNA and universal detection of RNA viruses. *J. Gen. Plant Pathol.* 75: 87–91 (2009).

(6) 学会賞, 学術奨励賞および日本農学会賞候補者の選考について（上田会長）

これまでの選考過程の説明の後に, 学会賞については次の3氏が推薦され, 承認された。（ABC順）

- ・生井恒雄氏「イネいもち病菌レースの分化およびいもち病の環境保全型防除に関する研究」
- ・夏秋知英氏「弱毒ウイルスの分子作用機構に関する研究」
- ・對馬誠也氏「イネもみ枯細菌病の発生生態と防除に関する研究」

学術奨励賞については次の3氏が推薦され, 承認された。

(ABC順)

- ・志村華子氏「植物ウイルスサイレンシングサプレッサーの性状解析と抗ウイルス剤開発への応用」
- ・上野 誠氏「いもち病菌に対する植物の光誘導抵抗性の発現機構に関する研究」
- ・山次康幸氏「植物RNAウイルスの複製・移行の分子機構に関する研究」

日本農学賞受賞候補者については,

久能 均氏「病原糸状菌感染と宿主反応の細胞学的研究～細胞表面における相互認識～」

が推薦され、承認された。

(7) 平成 23 年度大会（農工大）における学生優秀発表賞の評価票の改正について（佐藤庶務幹事）

平成 23 年度大会における学生優秀発表賞の評価票の変更することが提案され、承認された。

(8) 学術奨励賞の年齢制限の緩和について（上田会長）

築尾評議員から幹事に提案のあった学術奨励賞の年齢制限の緩和について、幹事会で検討した結果として学術奨励賞の授賞年齢を 40 歳未満に引き上げることが提案され、承認された。

(9) 植物病原菌類談話会の研究会・談話会としての認定について（上田会長）

植物病原菌類談話会から願いが出された日本植物病理学会会則第 28 条の研究会・談話会としての認定が提案され、承認された。

(10) 次期編集委員会について（上田会長）

次期編集委員会について九州部会内で担当をお願いしていることが紹介され、九州部会内に編集事務局をおくことが提案され、承認された。また、岩井九州部会長より九州部会内において編集委員長ならびに編集体制を検討していることが報告された。

2. 報告事項

平成 23 年度副会長選挙結果の報告（阿久津選挙管理委員長）

(1) 平成 23 年度副会長選挙において奥野哲郎氏が選出されたことが報告され、奥野哲郎氏から挨拶があった。

(2) 学会事務局の移転について（桑田幹事長）

社団法人日本植物防疫協会から事務所の移転についての説明を受けたこと、これに対応して日本農薬学会、応用動物昆虫学と協議して学会事務局を新事務所の 4 階に来年度前半を目処に移転する願い書を日本植物防疫協会に提出したことについて報告された。

(3) 新病名目録の出版について（月星病名委員長）

新病名目録を CD 版として出版する計画について植物防疫協会に説明し許諾が得られたことが報告された。出版の形態についてはさらに検討することとなった。

(4) 平成 22 年度大会報告

奥野大会委員長より大会に関して、例年より会場費の関係で参加費が高くなったが、参加者数は若干増えたことが報告された。

(5) 第 7 回教育プログラム報告

近藤則夫氏より、本年度の教育プログラムの参加者は 24 名で内訳は学会員 13 名、非会員 11 名であったこと、所属先は国・地方機関 11 名、会社 13 名、参加者に高校教員が 1 名いたことが報告された。

(6) 編集委員会報告（奥野編集委員長）

2011 年からインパクト・ファクターが JGPP につくこと、その際には JGPP の過去 2 年の論文が対象となることが報告された。また、JGPP 内でのみでの引用回数だけではペナルティが課せられるので、別の雑誌に投稿する論文における引用にも留意してほしいとの報告があった。

(7) 国際対応委員会報告（露無国際対応委員長）

オーストラリアとの国際交流で、学生を相互に 2 名ずつ派遣する計画について報告された。日本側の学生は ACPP の開催に合わせて先方に送り、発表予定の学生会員から選考を行うこと、オーストラリアからの学生受入れは夏秋啓子氏と露無委員長で行い、学会からの資金援助を行うことが報告された。

(8) 技術士対応委員会（難波副会長）

平成 23 年度大会期間中に行われる技術士試験対応セミナーの案内があった。

(9) 平成 23 年度大会（農工大）準備状況報告

寺岡大会委員長の代理として有江 力氏より大会資料の説明と、昨年と同様の発表要旨登録システムの利用を予定していることが報告された。

(10) その他

- 大島一里氏より感染生理談話会の報告があった。次回開催（平成 24 年度）は滋賀県立大学の鈴木一実氏が担当することが報告された。

- 上田会長より 2011 年に日本で開催される MPMI および IUMS に関する情報提供があった。MPMI では学会員である真山氏、渋谷氏が副会長を務めるなど学会員が開催委員として参加していることが案内された。IUMS では日程の紹介と、当初依頼されていた Mycology 分野のセッション担当は学会として行わないことが報告された。

- 曳地氏から IUMS の Bacteriology に関して、Bonas 氏をコメンテーター、他に日本人 4 名とアメリカ人 1 名を招待講演者として現在打診していることが報告された。

- 井上庶務幹事より研究会用に学会ホームページ上にフォルダを作成して利用できるようにしてほしいと EBC 研究会から依頼があり、対応する方向で検討を進めていることが報告された。桑田庶務幹事長からは HP 上にスケジュール管理できる場を作成することを

検討していることが報告された。平成22年度において研究会と部会の開催日時が重なる事態が発生したため、これを防ぐために研究会等は予定が決まった時点で事務局に連絡をお願いする。

- ・難波副会長より科研費の分科細目表の見直しについての情報と意見交換が行われた。

閉会の挨拶（上田会長）

II. 平成22年度第3回日本農学会運営委員会議事録

日時：平成22年12月13日（月）15時～16時30分

場所：東京大学農学部3号館4階 大会議室

出席者：大熊幹章会長，磯貝 彰副会長，三輪睿太郎副会長，河鱈実之（園芸），吉迫 宏（シス農），窪野高徳（樹医），中嶋正敏（植調），石橋整司（森計），高橋輝昌（森立），八田珠郎（応糖科），岩淵喜久男（応動昆），桑山岳人（家禽），嶋田 透（蚕糸），嶺田拓也（雑草），桑原正貴（獣医），桑田 茂（植病），仁多見俊夫（森林），山川 卓（水産），後藤英司（生環），伊藤 弘（造園），小澤壯行（畜産），石川 明（動遺育），大谷 卓（土肥），妹尾啓史（土微），真田篤史（熱農），吉本真由美（気象（代）），長澤寛道／西山 真（農化），米山弘一（農薬），山内啓太郎（繁殖），前島勇治（ペドロ（代）），斎藤幸江（木材），牧野義雄（農機），中村典裕（農情），横田康裕（林経（代）），黒住圭子（事務局）

欠席者：馬場 正（園芸），白木克繁／五味高史（砂防），土田志朗（実農），伊藤純一／野々村賢一（育種），加藤 茂（海水），廣野育生（魚病），三簾久夫（国地開），松村一膳（砂丘），磯田昭弘（作物），山下修一（芝草），内田和幸（獣医），篠原健司（森林），濱田奈保子（水産），酒井久治（水工），石川尚人（草地），柳井重人（造園），今川和彦（畜産），柳澤修一（土肥），高橋克也（農経営），納口るり子（経済），高垣美智子（農作），川越義則（農施），塩沢 昌／中嶋 勇（農村工），八木洋憲（農計），信田 聡（木質），渡辺敦史（林育）

議題：

1. 平成22年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について
2. 平成22年度事業報告（案）
 - (2) 平成22年度シンポジウムの報告および出版関連
3. 平成22年度収支決算報告（案）
4. 平成23年度事業計画（案）
 - (1) 平成23年度シンポジウム実施計画案

5. 平成23年度収支予算計画（案）
6. 平成23年度評議員会について
7. 平成23年度評議員・運営委員・常任委員について
8. 平成23年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順
9. その他
 - (1) 日本農学賞について
 - (2) 事務委託について
 - (3) 退会届・入会届
 - (4) その他

配布資料

- ・平成22年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）【資料1】
- ・平成22年度事業報告（案）【資料2-1】
- ・平成22年度シンポジウムの報告および出版関連【資料2-2・2-3】
- ・平成22年度収支決算報告（案）【資料3】
- ・平成23年度事業計画（案）【資料4-1】
- ・平成23年度シンポジウム実施計画案【資料4-2・4-3】
- ・平成23年度収支予算計画（案）【資料5-1】
- ・平成23年度日本農学会正会員数【資料5-2】
- ・平成23年度評議員会開催案内【資料6-1】
- ・平成23年度評議員出欠票・委任状【資料6-2・6-3】
- ・平成23年度評議員・運営委員・常任委員について【資料7】
- ・平成23年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順【資料8】
- ・日本農学賞選考方法（案）・推薦書【資料9】
- ・退会届・入会届【資料10】

初めに会長より挨拶があった。

議事1. 平成22年度第2回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明がありました承認されました。

議事2. 平成22年度事業報告（案）

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明がありました承認されました。

(1) 平成22年度シンポジウムの報告および出版関連

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明がありました承認されました。

議事3. 平成22年度収支決算報告（案）

山川会計担当常任委員より資料に基づき説明がありました承認されました。

議事 4. 平成 23 年度事業計画 (案)

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

来年度の日本農学会の会場は弥生講堂、祝賀会はセイホクギャラリーに変更の旨説明があった。

(1) 平成 23 年度シンポジウム実施計画案

窪野企画担当常任委員より内容・進行状況について説明があり了承された。

議事 5. 平成 22 年度収支予算計画 (案)

山川会計担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

予算案は昨年同様の予算で作成。現在、(財)農学会とは事務委託契約について進めている。委託した場合でも、なるべく現状の金額内で委託費を考えている旨大熊会長より説明があった。

議事 6. 平成 22 年度評議員会について

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 7. 平成 23 年度評議員・運営委員・常任委員について
桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、平成 23 年度常任委員 6 名のうち 3 名を前年度に引き続き樹木医学会、植物化学調節学会、森林計画学会から、新たな 3 名を、園芸学会、(社)日本畜産学会、(社)日本農芸化学学会からそれぞれ選出してもらうことので了承された。

議事 8. 平成 23 年度日本農学会賞受賞候補業績の推薦学会発表順

50 音順に抽選を行い、次の通り確定した。

1. 日本農芸化学会
2. 日本農業気象学会／農業経済学会
3. 日本獣医学会
4. 植物化学調節学会
5. 日本植物病理学会
6. システム農学会
7. 日本家禽学会
8. (社)日本畜産学会
9. 日本作物学会
10. (社)農業農村工学会
11. (社)日本水産学会

議事 9. その他

(1) 日本農学会賞について

桑原庶務担当常任委員から資料に基づき説明があり了承された。

規則は変えず、日本農学会賞受賞者選考方法細則でわかりやすく明記し、推薦書も初めに候補者の名前を記載するように修正した。

(2) 事務委託について

大熊会長より、現在(財)農学会と委託内容、委託金額について慎重に調整中である旨説明があった。

運営委員より日本農学会としての将来的なビジョンが必要なのではないかとの意見があった。今後常任委員を中心に議論していく方向で行きたいとの大

熊先生からお話があった。

(3) 退会届・入会届

桑原庶務担当常任委員より、日本ペット栄養学会から退会届、日本フードシステム学会から入会届が提出された旨報告があり、了承された。

III. 平成 22 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録

日時：平成 22 年 9 月 13 日 (月) 15 時～16 時 30 分

場所：東京大学農学部 3 号館 4 階 大会議室

出席者：大熊幹章会長、磯貝 彰副会長、三輪睿太郎副会長、立石 亮 (園芸 (代))、吉迫 宏 (シス農)、土田志朗 (実農)、窪野高德 (樹医)、中嶋正敏 (植調)、石橋整司 (森計)、高橋輝昌 (森立)、伊藤純一 (育種)、八田珠郎 (応糖科)、岩淵喜久雄 (応動昆)、桑山岳人 (家禽)、磯田昭弘 (作物)、嶋田 透 (蚕糸)、嶺田拓也 (雑草)、山下修一 (芝草)、桑原正貴 (獣医)、桑田 茂 (植病)、仁多見俊夫／篠原健司 (森林)、山川 卓／濱田奈保子 (水産)、石川尚人 (草地)、伊藤 弘 (造園)、小澤壮行 (畜産)、石川 明 (動遺育)、妹尾啓史 (土微)、真田篤史 (熱農 (代))、平野高司 (気象)、小泉達治 (経済 (代))、長澤寛道／西山 真 (農化)、山内啓太郎 (繁殖)、斎藤幸恵 (木材)、横田康裕 (林経)、黒住圭子 (事務局)

欠席者：河鱈実之 (園芸)、五味高志／白木克繁 (砂防)、野々村賢一 (育種)、加藤 茂 (海水)、廣野育生 (魚病)、三簾久夫 (国地開)、松村一膳 (砂丘)、内田和幸 (獣医)、酒井久治 (水工)、後藤英司 (生環)、柳井重人 (造園)、今川和彦 (畜産)、柳澤修一／大谷 卓 (土肥)、高橋克也 (経営)、高垣美智子 (農作)、米山弘一 (農薬)、大倉利明 (ペドロ)、芋生憲司 (農機)、川越義則 (農施)、中村典裕 (農情)、塩沢 昌／中嶋 勇 (農木工)、八木洋憲 (農計)、信田 聡 (木質)、渡辺敦史 (林育)

議長：大熊会長

議事：

1. 平成 22 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について
2. 平成 22 年度 (第 81 回) 日本農学会大会の報告
3. 平成 22 年度日本農学会シンポジウム準備状況について
4. 平成 23 年度シンポジウムテーマおよび企画委員会の立上げについて
5. 平成 23 年度日本農学会賞受賞候補業績の推薦ならびに平成 23 年度日本農学会評議員会について
6. 平成 23 年度常任委員担当学会について
7. その他

配布資料

- 平成22年度第1回日本農学会運営委員会議事録(案) 【資料1】
- 平成22年度(第81回)日本農学大会プログラム 【資料2】
- 平成22年日本農学会シンポジウムプログラム(案) 【資料3】
- 平成22年日本農学会シンポジウム案内(配布用) 【資料4】
- 平成22年度日本農学会シンポジウムポスター配布内訳 【資料5】
- 平成22年度日本農学会シンポジウム成果概要出版目次(案) 【資料6】
- 平成21年度シンポジウム成果出版書「世界の食料・日本の食料」チラシ 【資料7】
- 平成23年度シンポジウムテーマ 【資料8】
- 平成23年度日本農学賞推薦依頼 【資料9-1】
- 推薦書類一式 【資料9-2】
- 平成23年度評議員会開催案内 【資料10】
- 平成23年度常任委員割り当て表 【資料11】
- 退会届 【資料12】
- シンポジウムポスター

議事開始の前に、学術著作権協会常任理事の野間豊氏から、学著協の概要について簡単な説明があった。また、著作権について先生方に理解していただくための資料が配布された。

議事1. 平成22年度第1回日本農学会運営委員会議事録(案)の承認について

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事2. 平成22年度(第81回)日本農学大会の報告

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

議事3. 平成22年度日本農学会シンポジウム準備状況について

仁多見企画担当常任委員より資料に基づき準備状況、広報活動および成果概要出版について説明があり、了承され

た。

10月9日のシンポジウムへの参加のお願いがあった。
議事4. 平成23年度シンポジウムテーマおよび企画委員会の立上げについて

窪野企画担当常任委員より、日本ペドロロジー学会から提案された「農学が救う!地球環境と人類の未来」を軸に今後進めて行く旨説明があり了承された。

関係学会には企画委員としてご協力のお願いがあった。

議事5. 平成23年度日本農学賞受賞候補業績の推薦ならびに平成23年度日本農学会評議員会について

桑原庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。推薦依頼は9月3日に加盟学協会にはメールにて送っているため、多くの学会から推薦頂きたい旨依頼があった。推薦締切は11月19日。評議員会は来年1月21日。

議事6. 平成23年度常任委員担当学会について

桑原庶務担当常任委員より、来期の常任委員担当学会について、「常任委員割り当て表」に基づいて新たに園芸学会・日本畜産学会・日本農芸化学会から常任委員をお願いする旨説明があった。

その他

(1) 日本畜産学会から日本農学賞推薦についての提案書

桑原庶務担当常任委員から資料に基づき説明があった。今後メールで提案書添付し各学協会の意見を伺い、次回の運営委員会までに集計し報告する。

(2) (財)農学会への事務委託について

大熊会長より現在曖昧になっている事務局について、(財)農学会と正式な契約を交わす方向で進んでいる旨報告があった。

今後、常任委員を中心に委託内容について詰めていく作業に入る予定だが、事務委託等についてご意見があれば事務局まで連絡してほしい。

また、これを機会に今後日本農学会の法人化についても、長澤先生を中心に立ち上げた「検討委員」を今後も続けて議論したい旨説明があった。

法人化等についてのご意見は、事務局より改めてメールでお願いする。